

おれんじの屋根

施設長より 「どんな人生を歩んでこられたのだろうか？」

4月の「おれんじの屋根」で述べたとおり、利用者さんに「ワクワクする生活」を用意したいということで、今年度より、年1回ですが、利用者さんが職員と二人で、希望のところに行ったり、やってみたいをことをする「自由の旅」がスタートしました。すでに7人がお出かけされ、これから行く予定の利用者さんたちも期待感を高めておられます。

“提案したお前が行け”ということでもないので、利用者さん30人中10人は私と一緒にということに。少し多いなと思いつつ、毎回の利用者さんとの「自由の旅」を楽しんでいます。

まる1日、希望のところや好きなどころに、ゆっくりとしたペースで出かけることで、利用者さんも楽しそうな表情や満足そうな表情をされ、会話ができる利用者さんからは、楽しかった、また行きたいという声が聞かれています。

また、特に私の場合、今まで知らなかった利用者さんの一面を知る機会にもなっています。先日は、71歳の方と、大型ショッピングモールと温泉などに出かけ、2ヶ所目の江津湖公園で、ポートハウスで「お茶」をしようとして、飲み物の希望を尋ねました。その方は、会話はなく首を縦に振って意思表示されるので、「アイスコーヒーですか?」、「アイスですか?」、「ビールですか?」と順番に尋ねると、ビールで首を振られました。しょうぶの里に確認したところ、健康上の問題はないのでOKということでした。

さっそくビールを注文（運転手の私はアイスコーヒー）すると、江津湖の景色を眺めながら実においしそうにビールを飲んでおられました。その間、口にタバコをくわえてライターで火を付けるようなしぐさも。「タバコを吸っていたのですか?」と尋ねると、首を縦に。私は喫煙をしないので、残念ながらタバコは持たず、「今度は、タバコを吸う職員と来ましょうか。」と言うと、首を振られていました。

この方は、自分から要求や意思表示はされず、日頃不満そうな態度や表情をされることもなく、しょうぶの里の生活になじんでいるように見える方です。しかし、心の中では、ビールを飲みたいとかタバコを吸いたいななど、いろいろなことを思ったり願ったりされているのだろうか、その思いを、どうにかして知る方法はないものだろうか。また、遠くを見る横顔を眺めながら、「どんな人生を歩んで来られたのだろうか。」とも。

利用者さんの中には学校時代を知っている人も何人かいますが、その人たちも、卒業後の人生は知りませんし、ここで初めて会った方たちが、これまでどのようなところで過ごし、どんなことを思っただけで来たのか、少しずつでも知りたいなと思いました。

今回の「自由の旅」での二人っきりのお出かけは、そういう機会にもなるなど、毎回の発見を楽しみにしているところです。



ご来場
ありがとうございました



6月2日(土)、天気にも恵まれ《第17回しょうぶの里まつり》も、おかげさまで無事盛会の内に終了することができました。ご来場いただきました皆さまをはじめ、協賛いただきました方々、ボランティアでお手伝いいただきました方々、ありがとうございました。

第17回 しょうぶの里まつり



ささりのファッションショー



たくさんのご来場、ありがとうございました!



パンザイ軍団 参上!



新鮮な野菜が
たくさん(^o^)/



かわいいグッズたち



給食室より

☆6月のイベントメニュー☆

6月 5日 誕生会ケーキ、コーヒー又は紅茶

6月13日 リクエストメニュー

ちらし寿司 鶏のから揚げ

枝豆サラダ パンプキンスープ



6月18日 リクエストメニュー

赤米入りごはん とんかつ 浅漬け

あげと焼きナスのみそ汁

6月29日 手作りおやつ



気温、湿度とも上昇する梅雨の時期は、食中毒が増えます。腸管出血性大腸菌(O-157)やカンパロバクター、サルモネラ属菌など、高温多湿を好む細菌が原因の大半を占めています。

☆帰宅時、トイレから出た後、食事の前の手洗いを徹底する。

☆食材は常温で放置しない。

など、食中毒の予防を心がけましょう。

管理栄養士 米村

医務室より

梅雨の季節を乗り切りましょう



6月に入り梅雨を迎えジメジメとした季節になりました。この時期、なんとなく体が重い、体調が今一つ優れないという方もいらっしゃると思います。しばらくは続くと思われるこの季節を、バランスの良い食事を朝、昼、夕ときちんと食べる。また、十分な睡眠をとり体調を整えていきましょう。

夏型過敏性肺炎に注意しましょう

トリコスポロン・クダネウムというカビを吸い込むことによって起こる肺炎で、梅雨以降の高温多湿の季節に起こるため《夏型過敏性肺炎》と呼ばれます。

症状はせき・痰・悪寒・頭痛・発熱などで夏風邪と間違われやすく、30~50歳代に多く見られます。夏の間だけせきが出るなど、これらの症状だけで終わる急性型と、症状が進み肺に重大な影響を及ぼす慢性型があります。慢性化すると治療が難しくなるため、カビの発生を抑えて症状が慢性化しないようにすることが重要とされています。

看護師 齊藤

はじめまして

5月からお世話になっております、給食室の石井真由美と申します。利用者様が笑顔で過ごされるよう頑張りたいと思っております。よろしく申し上げます。



石井 真由美

～編集後記～

今年もまた昨年同様天気に恵まれ、しょうぶの里まつりが盛会の内に終わることができました。食パザーもオール100円ということで、おかげさまで続々完売の札が立っていました。ご来場いただきました皆さま、ありがとうございました。

～第14号～

平成30年6月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

